



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社紀文食品

上場取引所 東

コード番号 2933 URL <https://www.kibun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員グループ統括室長 (氏名) 上野 勝

TEL 03-6891-2600

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	82,063	0.4	3,869	144.2	3,762	126.6	2,543	394.4
2023年3月期第3四半期	81,770	10.1	1,584	51.1	1,660	42.6	514	73.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,095百万円 (261.4%) 2023年3月期第3四半期 856百万円 (47.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	111.43	
2023年3月期第3四半期	22.54	

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	74,816	16,538	21.6
2023年3月期	63,750	13,839	21.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,168百万円 2023年3月期 13,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		16.00	16.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,963	1.2	4,502	122.6	4,020	128.3	2,597	487.0	113.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予測の修正につきましては、本日(2024年2月14日)公表しました「2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	22,829,781 株	2023年3月期	22,829,781 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	61 株	2023年3月期	20 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	22,829,738 株	2023年3月期3Q	22,829,761 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2024年3月期第3四半期連結累計期間	82,063	3,869	3,762	2,543
2023年3月期第3四半期連結累計期間	81,770	1,584	1,660	514

当第3四半期連結累計期間は、行動制限解除による人流増やインバウンド需要の回復などにより景況感としては緩やかな改善傾向がみられました。その一方、物価上昇による生活防衛のため日用品における消費者の節約志向は続いており、また実質賃金の伸びも市場を後押しする段階には至っておらず、市場全体では依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下において当社グループでは、2021年4月よりスタートした中期経営計画において収益性向上と財務体質改善による『持続的成長サイクルの確立』を目指した取組みを推進し、企業価値の更なる向上に努めてまいりました。また、当社グループの持続的な成長と社会課題の解決を軸としたESG課題への対応や、コーポレート・ガバナンスの充実にも継続して取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は82,063百万円と前年同期比292百万円の増収（0.4%増）となりました。営業利益は3,869百万円と前年同期比2,284百万円の増益（144.2%増）、経常利益は3,762百万円と前年同期比2,102百万円の増益（126.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,543百万円と前年同期比2,029百万円の増益（394.4%増）となりました。

なお、当社グループの売上高・営業利益は、主力商品である水産練り製品・惣菜が冬季におでん・鍋物等に向けての需要が高まることと、12月におせち料理関連商品の売上が集中するため、第3四半期に偏重する傾向にあります。前期及び当期における当社グループの各四半期における売上高及び通期の売上高に対する割合、営業利益又は営業損失（△）は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	2023年3月期 前連結会計年度				2024年3月期 当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高 (通期割合)	22,848 (21.6%)	23,940 (22.7%)	34,982 (33.1%)	23,921 (22.6%)	23,699 (22.2%)	23,993 (22.4%)	34,370 (32.1%)	—
営業利益又は 営業損失（△）	△70	△715	2,371	437	101	△56	3,823	—

（注）当連結会計年度の売上高の通期割合については、通期業績予想に対する割合を記載しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（国内食品事業）

国内食品事業では、国内において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、期初から年末の正月商戦まで通年で主力の水産練り製品が前年同期比で大幅な増となりました。なかでもカニカマは近年、高たんぱくなヘルシーさが着目され市場拡大が続いており、当社も主力商品「したらば」を中心に大きく売上を伸ばしました。また、食シーンの提案やSNSを活用したプロモーションなどが奏功し竹輪やはんぺん、当社独自の製法を用いたキャラクター蒲鉾「すみっこぐらしかまぼこ」や「シナモロール ポムポムプリンかまぼこ」など他の水産練り製品も前年同期を超える売上となりました。さらに正月商戦では、プロモーションとして「お正月プロジェクト」を特設ウェブサイトやSNSを通じて展開し、蒲鉾やシェアNo.1の伊達巻、蒲鉾・伊達巻・栗きんとんなどが1つのパッケージにまとめられ準備の時短・簡便につながるセット商品などが順調に売上を伸ばしました。一方で、競争環境の厳しい中華惣菜や麺状商品の売上が減少しました。商事部門では、輸出製品は好調だったものの、輸入農産品などの不調により売上減となりました。

利益面では、価格改定の浸透と主原料のすり身価格が落ち着きを取り戻したことで、増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は59,171百万円と前年同期比730百万円の増収（1.2%増）となり、セグメント利益は2,249百万円（前年同期はセグメント損失191百万円）となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 損失（△）	売上高	セグメント利益
第3四半期連結累計期間	58,440	△191	59,171	2,249

（海外食品事業）

海外食品事業では、海外において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、タイ国内向けは営業活動強化により回復の足取りが確かになって来たものの、他のアジア圏、中国、米国の各国市場では、インフレにより消費者の生活必需品を優先する節約志向が強まり低価格商品への購買シフトが見られ、主力商品であるカニカマやHealthy Noodle（糖質0g麺）の販売が前年同期比で減少しました。

利益面でも、自社製品の売上減の影響が大きく、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は8,881百万円と前年同期比1,108百万円の減収（11.1%減）となり、セグメント利益は674百万円と前年同期比443百万円の減益（39.6%減）となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
第3四半期連結累計期間	9,990	1,117	8,881	674

（食品関連事業）

食品関連事業では、国内において食品の運送、その他食品に関連した事業を行っております。

売上面では、当事業セグメントの中心である物流事業において、年末商戦を含め経済活動が活性化され、外食店舗や百貨店、駅ビル、観光地に向けた物量が大きく復調したことに加え、継続して注力してきた新規顧客の獲得により伸長しました。また料金改定も増収に寄与しました。

利益面では、人件費や輸送全般における諸々のコスト増の上昇などがマイナス要因としてある一方、売上増分と連動して利益額、利益率ともに確実に獲得しており、対前年同期を上回る実績となりました。

この結果、当セグメントの売上高は14,010百万円と前年同期比671百万円の増収（5.0%増）となり、セグメント利益は846百万円と前年同期比71百万円の増収（9.3%増）となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
第3四半期連結累計期間	13,339	775	14,010	846

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は74,816百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,066百万円増加しました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ10,370百万円増加し、38,335百万円となりました。これは主に12月のおせち料理関連製品の売上等により受取手形、売掛金及び契約資産が11,118百万円増加、主原料の調達により原材料及び貯蔵品が1,278百万円増加した一方で、商品及び製品が1,556百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ695百万円増加し、36,481百万円となりました。これは主に退職給付に係る資産が751百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は58,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,366百万円増加しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9,305百万円増加し、34,686百万円となりました。これは主に主原料等の調達増加により支払手形及び買掛金が3,659百万円増加、運転資金の調達により短期借入金が4,325百万円増加、「その他」に含まれる未払費用が1,185百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ938百万円減少し、23,591百万円となりました。これは主に繰延税金負債が274百万円増加した一方で、長期借入金の返済により1,260百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は16,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,699百万円増加しました。これは主に利益剰余金が2,178百万円増加、為替換算調整勘定が464百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は21.6%（前連結会計年度末は21.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想を修正することを2024年2月14日付で公表いたしました。

国内市場における価格改定の浸透と主要原材料であるすり身価格の沈静化、さらに継続して実施している合理化策等が奏功したことにより、増益を見込んでおります。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、この修正に伴う期末配当予想（17円）の変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,436,670	6,155,796
受取手形、売掛金及び契約資産	10,224,422	21,343,354
商品及び製品	5,888,103	4,331,459
仕掛品	230,894	197,888
原材料及び貯蔵品	4,350,694	5,629,269
その他	843,518	700,203
貸倒引当金	△9,058	△22,495
流動資産合計	27,965,245	38,335,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,557,224	5,403,973
機械装置及び運搬具（純額）	1,952,666	1,981,956
土地	5,846,544	5,862,329
その他（純額）	3,830,582	3,904,999
有形固定資産合計	17,187,018	17,153,259
無形固定資産	577,128	417,665
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000,182	2,250,810
退職給付に係る資産	14,722,765	15,473,932
繰延税金資産	119,544	129,351
その他	1,180,477	1,058,476
貸倒引当金	△1,678	△2,173
投資その他の資産合計	18,021,290	18,910,397
固定資産合計	35,785,437	36,481,322
資産合計	63,750,682	74,816,797

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,397,205	12,056,337
短期借入金	4,318,848	8,644,694
1年内償還予定の社債	792,760	914,160
1年内返済予定の長期借入金	5,433,930	5,293,617
未払法人税等	369,020	448,372
賞与引当金	810,210	526,449
その他	5,259,082	6,802,892
流動負債合計	25,381,057	34,686,523
固定負債		
社債	2,285,860	2,664,540
長期借入金	13,429,553	12,168,633
繰延税金負債	4,497,667	4,772,303
退職給付に係る負債	197,029	220,969
資産除去債務	310,192	326,336
その他	3,810,232	3,439,031
固定負債合計	24,530,534	23,591,814
負債合計	49,911,591	58,278,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,368,788	6,368,788
資本剰余金	1,942,988	1,942,988
利益剰余金	5,258,767	7,437,450
自己株式	△33	△77
株主資本合計	13,570,510	15,749,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,554	330,247
繰延ヘッジ損益	△24,067	△20,980
為替換算調整勘定	△85,494	379,483
退職給付に係る調整累計額	△154,056	△269,852
その他の包括利益累計額合計	△70,063	418,898
非支配株主持分	338,642	370,410
純資産合計	13,839,090	16,538,459
負債純資産合計	63,750,682	74,816,797

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
売上高	81,770,683	82,063,177
売上原価	64,699,351	63,024,234
売上総利益	17,071,332	19,038,942
販売費及び一般管理費	15,486,605	15,169,252
営業利益	1,584,726	3,869,689
営業外収益		
受取利息	1,794	3,982
受取配当金	37,010	38,238
持分法による投資利益	57,167	77,501
為替差益	396,334	190,367
その他	39,784	40,477
営業外収益合計	532,091	350,567
営業外費用		
支払利息	420,648	402,662
その他	35,652	54,725
営業外費用合計	456,301	457,388
経常利益	1,660,517	3,762,868
特別利益		
固定資産売却益	—	499
特別利益合計	—	499
特別損失		
固定資産除売却損	5,988	113,099
減損損失	62,916	156,114
特別損失合計	68,905	269,213
税金等調整前四半期純利益	1,591,612	3,494,154
法人税、住民税及び事業税	549,745	633,837
法人税等調整額	459,071	252,929
法人税等合計	1,008,816	886,767
四半期純利益	582,795	2,607,387
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,251	63,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	514,544	2,543,959

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	582,795	2,607,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,603	136,775
繰延ヘッジ損益	△69,466	3,086
為替換算調整勘定	676,446	453,673
退職給付に係る調整額	△320,257	△117,060
持分法適用会社に対する持分相当額	13,685	11,901
その他の包括利益合計	273,804	488,376
四半期包括利益	856,599	3,095,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794,896	3,032,920
非支配株主に係る四半期包括利益	61,703	62,843

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	58,440,787	9,990,058	13,339,837	81,770,683	—	81,770,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,996,799	4,466,810	5,190,341	11,653,952	△11,653,952	—
計	60,437,587	14,456,869	18,530,179	93,424,636	△11,653,952	81,770,683
セグメント利益又は損失（△）	△191,487	1,117,661	775,250	1,701,424	△116,698	1,584,726

（注）1 セグメント利益又は損失（△）の調整額△116,698千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「国内食品事業」及び「食品関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「国内食品事業」62,184千円、「食品関連事業」732千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	59,171,107	8,881,069	14,010,999	82,063,177	—	82,063,177
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,486,474	3,961,997	5,276,426	10,724,898	△10,724,898	—
計	60,657,581	12,843,067	19,287,426	92,788,075	△10,724,898	82,063,177
セグメント利益	2,249,178	674,514	846,998	3,770,690	98,998	3,869,689

(注) 1 セグメント利益の調整額98,998千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「国内食品事業」及び「食品関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「国内食品事業」47,359千円、「食品関連事業」108,754千円であります。